

ASEACCU (東南・東アジアカトリック大学連盟) 学生会議に参加して

期 間:2012年8月21日-26日
場 所:Wenzao Ursuline College of Languages(台湾 高雄市)
参加者:並木 リベカさん(総合政策学部 総合政策学科4年)
片山 桃子さん(人文学部 キリスト教学科3年)



ASEACCU実施内容

ASEACCUには、日本、オーストラリア、インドネシア、フィリピン、タイ、台湾、韓国、カンボジアといった東南アジア・東アジアの国や地域から、68大学が加盟しています。2012年度の学生会議のテーマは、「現代世界における持続的発展のためのカトリック高等教育の貢献: サービスラーニングの学びから卒業後の社会的起業に至るまで」で、44校から、教授や学生合わせて150名が集まりました。学生達は、台湾滞在中の1週間を学生寮で過ごし、単に会議に参加するだけでなく、会議に先立って行われたスタディツアー(現地の社会福祉施設への訪問、グループディスカッション、夜

市への観光など)を通して現地の生活についても体験することができました。会議では、教授や学生達による1日かけてのワークショップやプレゼンテーション等が行われ、学生のプレゼンテーションではスタディツアーでグループごとに訪問した孤児院や老人ホームなどについて各人が学んだことを発表し合いました。この発表こそが国際学生会議のメインであり、現地で学んだ事を分かち合う良い機会ともなっています。最終日には、各国のカルチャーパフォーマンスが披露されるのですが、日本の学生達は現地で練習した「炭坑節」と「上を向いて歩こう」を浴衣姿で披露し、他の国の学生達も途中参加するなど参加者全員が一緒になって会場を盛り上げました。ASEACCU:The Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities

並木 リベカさん感想

学生会議に参加し、アジアの様々な国から来ていた学生たちと交流していく中で、多くに気付かされました。その中で一番強く印象に残ったことは、私たち大学生は社会の中でどれほど影響力があるかということです。私は以前、学生は大学で学問的知識や考え方を身に着け、学内での活動に励んでいれば充実していると思っていました。しかし、今回の会議でアジア各国からの学生と交わり、彼らの「社会の現状を変えたい」という熱意に触れ、大切なことに気付かされました。学生は学問を学ぶ権利を持つと共に大学というコミュニティを超えて社会をも変えていく力を持っています。大学を卒業後にそのことに励むのではなく、今からそれができます。大切なのは学生自身が自分の持っている影響力に気付くことだと思います。この体験をさせてくださった全ての方々に感謝します。



左:並木さん

片山 桃子さん感想

今回参加するにあたり、アジア圏のカトリック大学の教育内容を分かち合う事が一番の目的でした。現地では1グループ9人でのグループ行動でしたが、スタディツアーやプレゼンテーションに参加するたびに思った事、得た事、感じた事、また些細な事を分かち合う時でも、どのようにしたら、カトリック大学の教育プログラムに取り組みられるのかを学びました。また、1週間のプログラムは、毎日が祈りをもって始まり、祈りをもって終わりました。ミサの共同祈願は各国の大学が担当しましたが、私たちが愛する心、ゆるす心、分かち合う心、さらに感謝する心を持って生きることが願い、参加者全員がそれぞれ

体験・経験したことに対し感謝の祈りを捧げました。このASEACCU学生会議では、カトリック大学としてのこれからの方向性、取り組みなどを明確にしたと思います。さらに、私たちが置かれる環境の中で主体的に行動し、社会に貢献出来る人となることを各国の学生達と互いに確信し合いました。この学生会議では、毎日祈りをもって始まり、祈りをもって得た事を生かし、今後の社会に貢献したいと思っています。



右:片山さん

ACUCA (アジアキリスト教大学協会) STUDENT CAMPに参加して

期 間:2012年8月20日-24日
場 所:国際基督教大学
参加者:山岸 可奈子さん(経営学部 経営学科2年)
シノザキ・エジロンさん(人文学部 キリスト教学科1年)



ACUCA実施内容

ACUCAには、日本、香港、韓国、フィリピン、タイ、台湾、インドネシアの大学が加盟しており、2012年度実施された国際会議には、41大学、101人の参加者が集まりました。国際基督教大学の先生から、「信念に基づいた持続可能な社会」についての講演後、今年度のテーマ「共に努力し夢を実現する明日を目指す」の下、各国ごとに自国の環境問題や、自分達の宗教がどのように生活と結び付いているのかについて、プレゼンテーションを行いました。さらに、グループに分かれて持続可能な社会の構築についてディスカッションを行い、議論内容をまとめて「環境と共に発展するアジア」という題名で発表しました。

※ACUCA: Association of Christian Universities and Colleges in Asia

山岸 可奈子さん感想

私はこの会議に参加して、2つのことを学びました。1つ目は、コミュニケーションの手段は英語だけではないという事です。香港や台湾の人とは、第2外国語として学んだ中国語で少しだけ会話することができ、中国語の授業の時に観た映画の話と一緒に盛り上がりました。私がこうして英語以外にも意思疎通することが出来るのは、南山大学で出会った留学生の存在が大きいと思います。2つ目に、経営を学んでいる自分が、各国の環境問題に対して貢献できるという事です。例えばインドネシアでは、首都で車の排気による大気汚染が深刻な問題になっており、Car Free Dayを設けています。他のアジア諸国も同様に工業化の過程で、公害による影響が懸念されます。日本のような悲劇を二度と起こさないために、日本が持つ環境技術を産業財の輸出という形で他のアジアの国に役立てることが出来ればと思いました。



シノザキ・エジロンさん感想

今回のACUCAでアジア諸国の青年たちとあって、自分達の目指すべき将来について共に考えたことによって、新しい発見が出来たと思います。ことはや文化等の壁を越えて、お互いの意見に耳を傾ける大切さを実感しました。国や言語や背景が違っても、話してみると希望と夢は同じであることが分かりました。ACUCAに参加した青年の中には、未来のアジアのリーダー達が居るかもしれません。こうして、若いときから、「分かち合う」ことの大切さを体験すれば、もっと世界の平和に繋がるのではないかと思います。



◆ 南山大学公式 facebook 開設!

2012年10月24日(水)より、南山大学公式facebookを公開しました。公式Webページで紹介しきれないイベントや学生の活動、移りゆく季節の中のキャンパス風景など、身近なニュースを日々掲載する予定です。なお、閲覧のみの場合はfacebookへの登録は不要ですが、「いいね!」ボタンを押したり、コメントを投稿するためには、アカウント登録が必要になります。一度ぜひ以下のURLを覗いてみてください。

http://www.facebook.com/NanzanUniversity



◆ 文部科学省関連の申請と採択

南山大学では、大学における教育の質的向上と世界で活躍できる人材の育成を目指し、様々な大学教育の改善に取り組んでいます。こうした中、南山大学の個性輝く取り組みが、他大学の取り組みのインセンティブとなり、高等教育の活性化が促進されるものとして、文部科学省から採択されたものを紹介しています。

〈関連Webページ〉
http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/gp.html

◆ 2013年度学生納入金改定について

2013年度南山大学学生納入金について、2012年9月28日開催の南山学園理事会は、消費者物価指数などの外的要因、教育研究条件の改善ならびに経済的現況を総合的に勘案した判断に基づき、授業料・施設設備費を据え置くことを決定しました。

◎名古屋キャンパス学部学生

授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、1年次生および2年次生は現行の18,000円に、3年次生および4年次生は現行の9,000円に据え置く。

◎名古屋キャンパス大学院学生

ビジネス研究科ビジネス専攻および法務研究科を除く研究科については、授業料を現行の574,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。ビジネス研究科ビジネス専攻については、授業料を現行の700,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の100,000円に据え置く。法務研究科については、授業料を現行の1,000,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の200,000円に据え置く。

◆ 学位

森泉 哲 准教授 短期大学部
Doctor of Philosophy in Communication
The University of New Mexico
2012年7月28日付



南山大学

発行 学長室
〒466-8673 名古屋市中昭和区山里町18
Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail:gaku-ko@nanzan.ac.jp
http://www.nanzan-u.ac.jp/

NANZAN bulletin vol.183 2012.12.20



◆ 2013年4月 大学院理工学研究科 博士前期課程 設置

2013年4月より、以下のとおり理工学研究科博士前期課程を開設いたします。これにより、数理情報研究科数理情報専攻博士前期課程は募集停止となります。[名称] 理工学研究科 [専攻] システム数理専攻 博士前期課程 ソフトウェア工学専攻 博士前期課程 機械電子制御工学専攻 博士前期課程

◆ 授業料、施設設備費とも据え置きを決定

◎瀬戸キャンパス学部学生

名古屋キャンパス学部学生の授業料に、総合政策学部は100,000円、数理情報学部ならびに情報理工学部は200,000円をそれぞれ加算して算出する。授業料を総合政策学部は現行の818,000円に、数理情報学部ならびに情報理工学部は現行の918,000円にそれぞれ据え置く。施設設備費は名古屋キャンパス学部学生と同額とし、現行の210,000円に据え置く。

◎瀬戸キャンパス大学院学生

授業料を総合政策研究科は現行の624,000円(社会人学生は654,000円)に、数理情報研究科は現行の674,000円(社会人学生は 734,000円)にそれぞれ据え置く。施設設備費は名古屋キャンパスのビジネス研究科ビジネス専攻および法務研究科を除く研究科と同額とし、両研究科とも現行の105,000円に据え置く。

◎南山大学短期大学部

授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。

寄付者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。
南山大学77生大同窓会
呼びかけ人 代表 柳澤 幾美 様

チャレンジする
学生達。

NANZAN UNIVERSITY

政治学から見る アメリカ医療制度

山岸 敬和

アメリカで病院に行ったら最初に聞かれる質問は何だと思いますか?それは「医療保険に加入していますか?」です。そして「はい」と答えると、次の質問は「保険の種類は何ですか?」です。日本では大抵「いかがされましたか?」が最初の質問で、最後に「保険証を提出してくださいね」と言われると思います。このような違いは医療保険制度が異なることから生まれます。それではなぜ国によって異なった医療保険制度が存在するのでしょうか?それを政治学の枠組みによって分析しようというのが私の研究です。政治学というのは、簡単に言えば政府、利益団体、市民などがどのような権力関係にあるかということに勉強する学問です。

私は、2011年8月から南山大学の研究留学



2010年3月に成立した医療制度改革法に対して最高裁が判決を下した日の様子(2012年6月28日)

やまぎし・たかかず
外国語学部
英米学科 准教授

主な著書は、「War and Health Insurance Policy in Japan and the United States」(Johns Hopkins University Press)、「日本の社会保障とその発展」(共著)(大学教育出版)、「日本の医療」(共著)(大阪大学出版会)。

専門分野はアメリカ政治、比較公共政策、日本医療制度。長期テーマは日本政治制度の発展

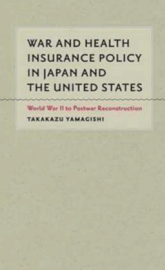
私の研究



制度でワシントンDCにあるジョージタウン大学に客員研究員として滞在しています。2012年は大統領選挙の年であり、その中で医療制度改革も大きな争点になりました。これまで政府関係者、シンクタンクや大学の研究者などへの聞き取り調査を行ないながら、アメリカ医療制度の過去と現在をどのように理解したらよいかを勉強しています。

医療制度というのは、一般国民の生き方、死に方、そして国全体の文化にも大きな影響を及ぼします。オバマ大統領の再選が決まった今、アメリカの医療制度改革がどのような方向に進んでいくのが注目されます。

そして日本人にとってはアメリカを鏡として日本の医療制度の将来についても考えていく作業が重要だと思います。



2011年に出版した日米の医療保険制度の歴史的發展を比較した著書

言語としての数学

三浦 英俊

私の担当する「シミュレーション」では、社会的あるいは物理的現象をコンピュータ上で再現する方法を扱います。店舗のレジの行列や通信システムの状態の過程をコンピュータに移植するためには、まず、数学を使ってこれらの現象をコンピュータが理解できる言葉に書き直さなければなりません。この授業では、数学は解決しなければならぬ現実の問題を翻訳するための言語としての役割を果たします。

数学は、哲学のひとつとしてその美しさを学ぶもよし、あるいは計算問題を解く技術を得得する面白さを楽しむもよし、さまざまな勉強の仕方があるわけですが、この授業では、数学はコンピュータのために現象を表現する手段でもあることを学びます。もちろん簡単な問題であればコンピュータに

みうら・ひでとし

情報理工学部

情報システム数理学科 教授

専攻分野は「都市のオペレーション・シミュレーション」。研究テーマは「航空機モデルを用いた都市交通の解析」、「持続可能な社会のためのインフラストラクチャー」。担当科目は「基礎演習」、「数学実習A,B」、「知識、言語と情報社会(計算機を用いた最適化計算入門)」、「情報科教育法」、「シミュレーション」。

私のクラス



任せることなく紙と鉛筆で数式を操って答えを求めればよい。しかし答えを見つけるのに何万年もかかることがはじめるから分かっていない問題や、計算ができないことが分かっている式もありません。シミュレーションは、これら紙と鉛筆では手に余る問題をコンピュータに代わりにやらせてもらう技術です。

数学という言語を通じてコンピュータと対話しつつ問題の答えを得る。授業では基礎的なことを扱うすぎませんが、学生諸君には、さらに大規模で難しい問題に挑戦してほしいと思っています。



授業:シミュレーション



チャレンジする 南山学生



ドイツ語の詩、朗読コンテストで特別賞を受賞。

外国語学部 ドイツ学科
熊谷 彩菜さん
(2年)

私が参加したのは、株式会社ユーハイム主催の「第31回ゲートの詩朗読コンテスト」です。このコンテストでは、350名の応募者から事前のテープ審査に通過した25名が本選に出場することができます。私は1次審査を通過し最終審査で『ファウスト』の第一部「夜」の場面の冒頭をドイツ語で朗読しまし

産学連携フォーラム、大学祭支援プログラムで入賞!

経営学部 経営学科
駒田 勝己さん
(3年)

私達、経営学部の石垣ゼミ生は産学連携フォーラムの「Next Communication Forum 2012」(NCF)が主催する「大学祭支援プログラム」に応募しました。内容は、東北復興支援を行う中野製麺の「三陸わかめラーメン」を、大学祭でスマートフォンを利用して販売することです。具体的な運用は、多くの人にわかめラーメンを知ってもらうため、店頭設置のタブレットや手持のスマートフォンを用いて、店の賑わいやボランティア概要、食べた方の感想をfacebook、twitterに掲載するというものです。ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)での個人情報の扱いは細心の注意を払うなど、社会的責任を強く認識す



スイス派遣について

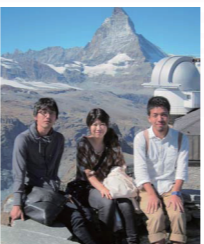
数理情報研究科 数理情報専攻
岡田 大輝さん
(修士1年)

私は、9月9日から9月16日までの一週間、数理情報研究科国際化推進事業大学院生派遣制度を利用し、スイスのチューリッヒ大学に留学させていただきました。チューリッヒ大学では、私の研究について発表を行なったほか、現地学生と交流を行ないました。私の研究は、システム設計支援のための知識ベースシステム開発です。システム開発の設計段階に焦点を当て、既存部品を知識として再利用することによりシステム設計を自動化し、設計に要する労力削減を目指しています。研究発表では、研究中の重要な要素と、

その理由を伝える難しさを体験しました。質疑応答では、自動化の範囲の曖昧さを指摘され、考えるべき点に気付かされました。現地学生は研究と休憩の切り替えが上手く、効率的に作業しているように感じました。

スイス派遣を通して、研究課題を多面的に捉える重要性を再認識しました。国際的な場での語学力だけでなく、相手に伝えようとする意識の重要性を痛感しました。

大学院では、技術習得や国際的な場への参加の機会は数多く設けられています。そういった機会を有効活用し自己成長へつなげるのが大切だと考えます。



廃陶磁器リサイクルプロジェクト

総合政策学部 総合政策学科
増田 綾香さん
(3年)

総合政策学部石川ゼミでは、ゼミに所属する学生有志で「リセツ友の会」という団体を立ち上げ、愛知県瀬戸市で開発されたリサイクル陶器「Re瀬戸」の新商品開発とその販売プロジェクトを進めています。リサイクル陶器「Re瀬戸」は、瀬戸市の窯業関係者により開発された技術であり、今回私たちは「Re瀬戸」の普及に努めてきた地元業者の方々の協力の下、新ブランド「緒-Tomo」の開発を行いました。この新商品は、現在、名古屋市内の雑貨店にて販売しています。

リセツ友の会では、商品開発部、販売促進部、広報部という三つの組織を作りプロジェクトに取り組みましたが、各部ともはじめて体



学生時代は思う存分、何でもチャレンジ。

短期大学部 英語科
清水 香奈さん
(1年)

私は学生としてだけでなく、役者としても活動しています。女優に憧れていた私は、高校生の時に自主制作映画のオーディションを受けて、主演に選ばれました。これが役者としての第一歩となり、現在も三月に行う舞台で、主役をいただき、その稽古に励んでいます。もちろん、学生としても遅刻欠席することな

く、必修以外に教職過程の履修を充実した毎日を送っています。その他にも中日新聞学生之新聞スタッフとして、紙面企画や取材にいたり、ボランティアやFM一宮サポーターとして活動中です。私にはまだまだやりたいことがありますが、その一つが国際交流です。南山大生であるからには、最大限に今いる環境を生かし、世界に日本のよさを発信していきたいと考えています。学生時代は「自分自身を磨く」絶好の機会です。私はやりたいことをとことんやり、自分の可能性を見出していきたいです。

Special events

9.29

父母の集い

9月29日、名古屋・瀬戸両キャンパスにて第40回「父母の集い」が開催されました。ミカエル・カルマン学長、加藤真澄理事長(名古屋キャンパスにて)、藤田光昭副理事長(瀬戸キャンパスにて)の挨拶に続き、第1部では本学担当者より、学生生活、海外留学、就職状況などについて説明が行われました。また、全体会に続いて第2部では、本学卒業生4名による「卒業生が語る就職活動～就職活動体験談～」を石川良文就職委員会委員長をコーディネーターとして実施しました。卒業生には、自分の就職活

動における経験談に基づき、企業にアピールした点、就職活動で困った事や、苦労した事、ご両親に対して感謝している事などをそれぞれ話していただきました。両親に感謝している点については、「自分の思うとおり、やりたいようにやらせてもらえました。」という意見や、「両親には選考中や内定後、判断を迫られる時の相談相手として支えてもらえました。」などの意見がありました。参加された方からは、「卒業生の生の声を聞かせて頂く事ができて参考になりました。」と多くの感想をいただきました。

10.20-28(瀬戸)、10.30-11.11(名古屋)

秋の図書館企画展 平治物語絵巻 ～源平合戦の幕開け～

10月20日～28日(瀬戸キャンパス)、10月30日～11月11日(名古屋キャンパス)、それぞれ両キャンパスの図書館にて秋の企画展「平治物語絵巻～源平合戦の幕開け～」が開催されました。『平治物語絵巻』は「三条殿夜討巻(さんじょうどのようちのまき)」、「信西巻(しんせいのみき)」、「六波羅行幸巻(ろくはらぎょうこうのみき)」の三巻の存在が知られており、本学はその三巻の複製資料を所蔵しています。今回の企画展では、図書館が所蔵し普段は目にすることのない、これらの貴重な資料を展示することにより、見学者の方に日本の歴史に触れてもらい、資料への興味や関心を深めていただきました。



10.30

国連アカデミック・インパクト関連講演会 「武器を持たずに市民として紛争を止めること—その機は熟したか?」開催

10月30日、R棟フラッテンホールにて国連アカデミック・インパクト関連講演会「武器を持たずに市民として紛争を止めること—その機は熟したか?」が開催されました。この講演会は南山大学が加盟している国連アカデミック・インパクト関連の講演会として行われ、講師として「非暴力平和隊」上級顧問およびウィスコンシン大学名誉教授のアン・フリッシュ氏にご来学いただきました。フリッシュ氏は学生を主とする400名以上の参加者の前で、非暴力平和隊の活動や体験談を熱く語られました。質疑応答では学生からも多くの質問が寄せられ、英語で質問する場面も



11.3-6

韓南大学校法科大学との学術交流会

南山大学法学部・法科大学院と韓国の韓南大学校法科大学は、毎年大学祭の時期に4日間の交流をしています。交互に各大学を訪問していて、今年も南山大学で交流会を行いました。1日目の歓迎会から始まり、2日目は学術交流会を行いました。これは、両大学の先生方による研究発表です。今年のテーマは「日韓家族法改正の近時の動向」でした。私はゼミで国際私法を専攻しているため、この内容はとても興味深かったです。そして、学術交流会の後には懇親会を行いました。今年は交流10周年ということで、南山大学と韓南大学校の韓国の入ったケーキが登場し、とても素敵

な懇親会になりました。3日目、4日目は、名古屋城や許の里博物館などを観光しました。名古屋を案内するということ、韓国の方が楽しんでくれるのか、また言葉の壁は乗り越えられるのか、始めは不安もありました。しかし、最終日のお別れでは本当寂しいよと泣いてくれる子もいて、4日間を楽しんでくれたことに安心しましたし、とても嬉しく思いました。交流会には、今年で3回目の参加でしたが、以前に交流した韓国人の友達とは今でも交流が続いています。そして今回も、国境を越えてずっと交流していける友達ができることが本当に嬉しいです。これからも、南山大学と韓南大学の交流がずっと続いてほしいと思います。

参加学生の声



森 朱音さん
(法学部法律学科3年)

11.3-6

NANZAN FESTIVAL2012・第12回聖南祭

11月3日から11月6日(聖南祭は11月3・4日開催)にかけて、名古屋・瀬戸両キャンパスにおいて南山大学大学祭が開催されました。自分達、一人ひとりがかけがえのないピースとして、大学祭という素敵なイベントを完成させようという思いを込め、名古屋キャンパス・南山祭のテーマは「パスル」としました。また、瀬戸キャンパス・聖南祭の今年のテーマは「色えんぴつ」。これには、決して色だけでは成り立たない、様々な色が揃った時に初めて鮮やかな色が出せるという意味が込められています。つまり、実行委員だけではなく地域の方々や関係するすべての方々に加わることで大学祭の完成を目指すというのが、それぞれのテーマを胸に学生主体の大学祭が今年も盛会のうちに幕を閉じました。



11.10(静岡)、17(浜松)

上智大学・南山大学合同進学相談会@静岡/浜松

11月10日(静岡)ならびに17日(浜松)に、受験生を対象に「上智大学・南山大学 合同進学相談会@静岡/浜松」が秀英予備校浜松校・静岡校にて開催されました。今回は3回目の開催となり、新企画「秀英予備校講師によるセンター試験対策講座」も開催されました。上智・南山両大学のスタッフ・在学生による相談コーナーには多くの高校生が訪れ、学部の特徴や入試方法などについて熱心に質問をしていました。特に在学生の相談コーナーは人気で、高校生の目線に近い在校生が自分の経験を元に高校生の相談に応じていました。両日とも盛況のうちに幕を閉じた進学相談会で



Special events/Schedule

2013.2.2-3.17

明治大学博物館・南山大学人類学博物館・名古屋博物館 合同企画 「驚きの博物館コレクション展—時を超え、世界を駆ける好奇心」開催

名古屋博物館・明治大学博物館・南山大学人類学博物館合同特別展「驚きの博物館コレクション—時を超え世界を駆ける好奇心—」が2013年2月2日(土)から3月17日(日)まで名古屋博物館・特別展示室にて開催されます。名古屋博物館、明治大学博物館、南山大学人類学博物館の3つの博物館が所蔵する多彩なコレクションをもとに、身近な尾張の歴史から世界各地の人間活動まで、人類のあゆみと多様な文化を紹介します。そのキーワードは「驚き」で、先人たちと同じように「こんなものがある!」と驚き、「こんなものまで収集している!」とその執念に驚き、「こんなことがわかるんだ!」とその探究心に驚かされます。盛りだくさんの博物館コレクションをご覧ください、これらの



加曾利氏式土器
(埴山貝塚)

祭司の衣装
(タイ ユーミン族)

2013.3.16

保護者のためのオープンキャンパス

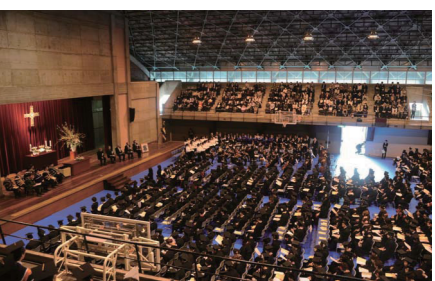
2013年3月16日(土)、名古屋キャンパスにて、高校生の保護者を対象とした「保護者のためのオープンキャンパス」を開催します。南山大学の大学概要説明や保護者向けの模擬授業、個別相談やキャンパスツアーなどが実施されます。また、留学した学生の留学体験紹介や、卒業生による就職活動体験談、キャリアサポート制度など、就職関連の発表も用意しているため、卒業後の進路についても考える事ができる貴重な機会となっています。大学を取り巻く環境が急激に変化しつつある昨今、大学の教育への取り組みを保護者に理解してもらい、進路決定の一助としていただければと思います。



2013.3.20

南山大学 2012年度「卒業式典」について

開催日時: 2013年3月20日(水)
第1部 午後1時より
第2部 午後3時15分より
場 所: 名古屋キャンパス体育館
内 訳 第1部: 外国語学部・法学部・情報理工学部 短期大学部・国際地域文化研究科 法務研究科・数理情報研究科
第2部: 人文学部・経済学部・経営学部 総合政策学部・人間文化研究科 経済学研究科・ビジネス研究科 総合政策研究科
問合せ先 名古屋キャンパス 総務課 (phone:052-832-3112)
※保証人検死のご案内文書は、卒業が確定した学生(2013年3月7日発表)にお渡しする予定です。



Internship

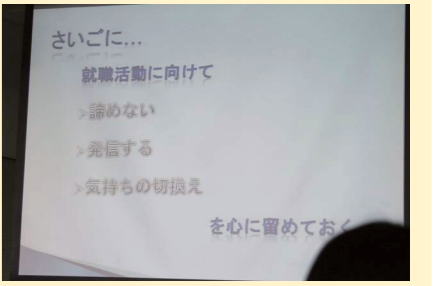
社会への第一歩

私は9月上旬に株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社の合同インターンシップに参加しました。その目的は、損害保険について具体的なイメージを持つこと、社会人と学生の違いを知ることにあります。現場では主にグループで、企業のお客様相手に経営活動におけるリスクを洗い出し、対処法を提案するという業務を体験しました。何度も壁にぶち当たり、損害保険の難しさや大事さを痛感しましたが、グループワークで意見を出し合い試行錯誤したことで、以前より明確に、自分の考えをまとめて伝えることができるようになり、顧客アポイントを通して社会人としてのマナーを学ぶこともできました。このインターンシップに参加させていただいて、就職活動に向けてのステップを踏むことができ、社員の皆様には深く感謝しております。振り返れば、私はなかなか受入先が見つからずに悩んだこともありましたが、諦めずにやれることをやりきった結果として、素晴らしい機会にめぐりえたことを誇りに思っています。挫折を味わったことで就職活動の厳しさを垣間見、自分



山中 香寿美さん
経営学部経営学科3年

の甘さにも気づきました。この経験を自分のさらなる成長の糧にしたいと思っています。



さいごに...
就職活動に向けて
諦めない
発信する
気持ちの切替え
を心に留めてお